

2016 第63期 Business Report 報告書

平成27年4月1日 ▶▶▶ 平成28年3月31日



A large, abstract, teal-colored graphic on the left side of the page, consisting of overlapping, flowing, ribbon-like shapes that create a sense of movement and depth. The color transitions from a lighter, almost white teal at the top to a darker, more saturated teal at the bottom.

Contents

目次

株主の皆様へ	2
財務ハイライト	3
財務データ	5
財務指標	7
事業の経過及び成果	8
FOCUS	
円筒内部成膜(コーティング)のご紹介	9
GEOMATEC製品の歩み	11
株式の状況	13
会社概要	14

株主の皆様へ



代表取締役社長 松崎 建太郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの熊本地震により被災された皆様には、心よりお見舞申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、ここに当社グループの第63期ビジネスレポートをお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景に雇用・所得環境に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の減速が鮮明になってきたことや、原油価格の下落、地政学的リスクの高まりなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

今後のわが国経済は、新興国経済の減速や地政学的リスクによる経済への影響が懸念されるものの、米国を中心とする先進国の景気が堅調に推移する見通しから、引き続き緩やかな回復基調で推移していくものと予想されております。

このような環境のもと、当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末が成熟化傾向にあるものの引き続き市場を牽引していくと見込んでおりますが、次期の前半については当期の後半に発生した生産調整が継続していることから厳しい状況で推移するものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループは、主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜について積極的な販売活動や、更なる品質の安定、生産性の向上に取り組み受注を確保するとともに、その他の薄膜製品についても拡販に努めてまいります。

また、現在関与している市場・製品に加え、成膜技術を用いた新たな市場への展開、新たな製品開発に向けた施策の実行を推し進め、企業価値の向上に繋げていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

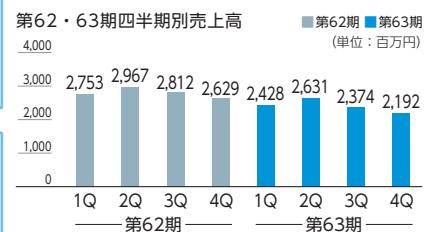
財務ハイライト

売上高

9,626 百万円

主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜、その他薄膜製品の受注活動に取り組みましたが、中国メーカー向けの需要減をカバーするには至りませんでした。

この結果、売上高は、96億26百万円(前期比13.8%減)となりました。

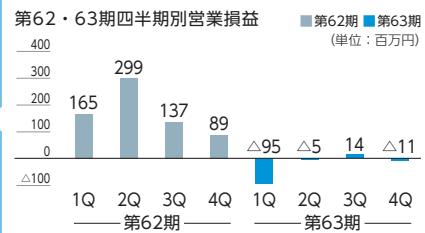


営業損益

△97 百万円

主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、北米メーカーのスマートフォン、タブレット端末向けで需要は堅調に推移したものの、中国メーカーのスマートフォン向けでは引き続き需要が鈍化していることから厳しい状況で推移いたしました。

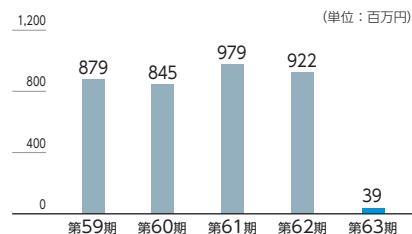
この結果、受注数量が伸び悩んだことにより、営業損失は97百万円(前期は6億93百万円の営業利益)となりました。



親会社株主に帰属する 当期純利益

39 百万円

生産効率の向上策や原価低減に努めてまいりましたが、中国メーカー向けの需要減の影響や投資有価証券の売却益66百万円の計上などにより39百万円(前期比95.8%減)となりました。

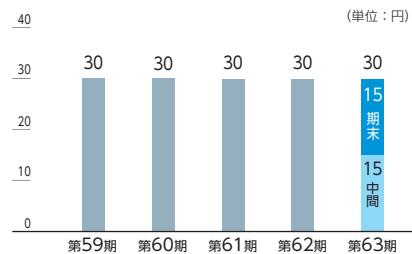


配当金

30 円

株主各位への利益還元を充実させていくことを経営の基本方針としております。

この考えのもと、業績を考慮しつつ安定的な配当を実施してまいりますとともに、将来の事業展開と、経営環境の変化に備えた経営基盤の強化に必要な内部留保を確保してまいります。



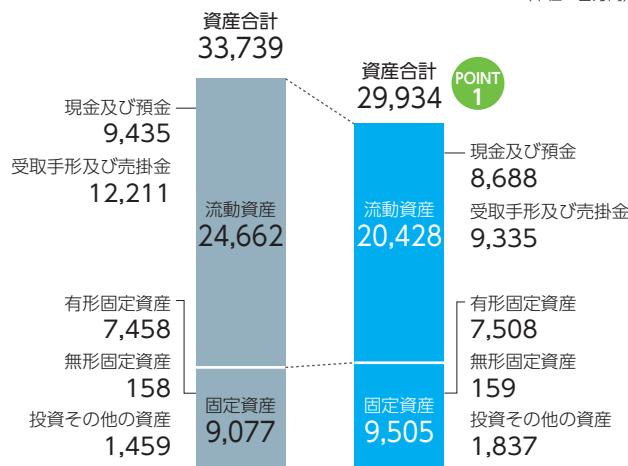
財務データ

連結貸借対照表

資産の部

前連結会計年度末

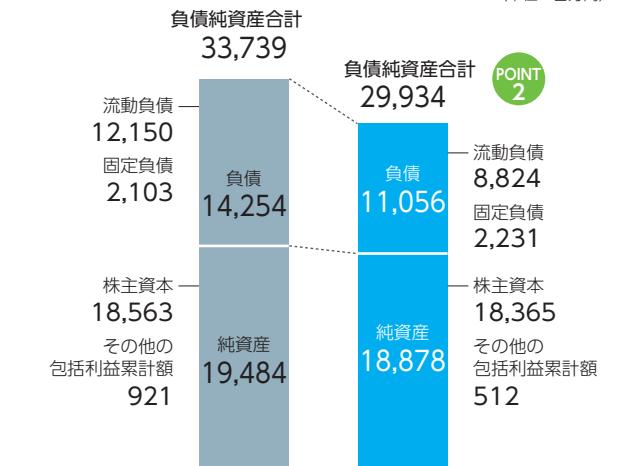
平成27年3月31日現在



負債の部

前連結会計年度末

平成27年3月31日現在



POINT 1

資産合計

29,934 百万円

流動資産は、現金及び預金が7億47百万円減少し、受取手形及び売掛金が28億75百万円、有価証券が4億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比で42億34百万円減少の204億28百万円となりました。固定資産は、投資有価証券が1億73百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比4億28百万円増加の95億5百万円となりました。

POINT 2

負債合計

11,056 百万円

流動負債は、支払手形及び買掛金が29億87百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比で33億26百万円減少の88億24百万円となりました。固定負債は、退職給付に係る負債が1億57百万円となったことなどにより、前連結会計年度末比で1億27百万円増加の22億31百万円となりました。

POINT 3

営業活動によるキャッシュ・フロー

843 百万円

営業活動の結果得られた資金は8億43百万円(前期比59.7%減)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が49百万円(前期比94.8%減)と大幅に減少したことや、前期にあった保険金の受取額4億81百万円が無くなったことなどによるものであります。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第62期	第63期
	H26.4.1~H27.3.31	H27.4.1~H28.3.31
売上高	11,164	9,626
売上原価	8,495	7,966
売上総利益	2,668	1,659
販売費及び一般管理費	1,974	1,757
営業利益又は営業損失(△)	693	△97
営業外収益	97	110
営業外費用	45	23
経常利益又は経常損失(△)	745	△11
特別利益	229	76
税金等調整前当期純利益	964	49
法人税、住民税及び事業税	41	10
法人税等調整額	0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	922	39

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

POINT
3

科目	第62期	第63期
	H26.4.1~H27.3.31	H27.4.1~H28.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,094	843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,107	△1,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130	△274
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	△49
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	927	△1,247
現金及び現金同等物の期首残高	9,660	10,588
現金及び現金同等物の期末残高	10,588	9,341

連結株主資本等変動計算書

第63期(H27.4.1~H28.3.31)

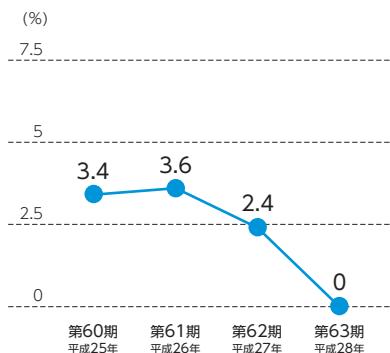
(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成27年4月1日残高	4,043	8,297	7,533	△1,311	18,563	224	595	102	921	19,484	
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,043	8,297	7,533	△1,311	18,563	224	595	102	921	19,484	
当期変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
剰余金の配当	—	—	△237	—	△237	—	—	—	—	△237	
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	39	—	39	—	—	—	—	39	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△153	△125	△129	△408	△408	
当期変動額合計	—	—	△198	—	△198	△153	△125	△129	△408	△606	
平成28年3月31日残高	4,043	8,297	7,335	△1,311	18,365	71	469	△27	512	18,878	

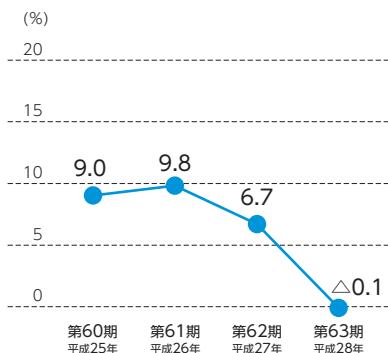
財務指標

収益性

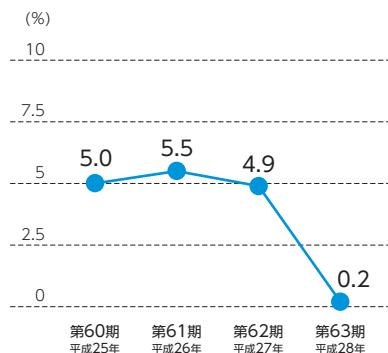
総資産経常利益率



売上高経常利益率

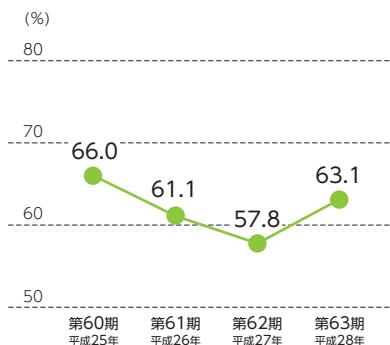


自己資本当期純利益率

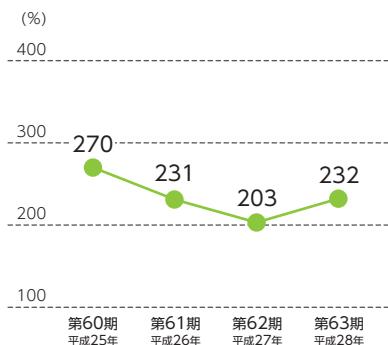


安全性

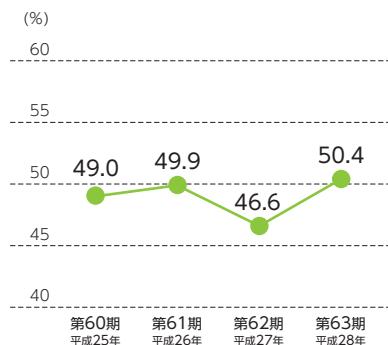
自己資本比率



流動比率



固定比率



■ 総資産経常利益率=経常利益÷総資産(注) ■ 売上高経常利益率=経常利益÷売上高 ■ 自己資本当期純利益率=親会社株主に帰属する当期純利益÷純資産(注)
 ■ 自己資本比率=純資産÷総資産 ■ 流動比率=流動資産÷流動負債 ■ 固定比率=固定資産÷純資産
 (注) 総資産・純資産につきましては期中平均で算出しております。

事業の経過及び成果

フラットパネルディスプレイ

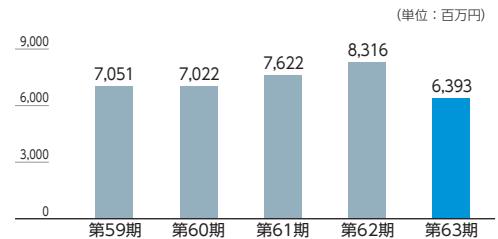
フラットパネルディスプレイ用基板につきましては、液晶パネル用帯電防止膜は、北米メーカーのスマートフォン、タブレット端末向けで新機種販売に伴い受注は安定的に推移しましたが、中国メーカー向けスマートフォン用の受注は大幅に減少いたしました。タッチパネル用透明導電膜は、スマートフォン向けに液晶パネル一体型タッチパネル用の受注は増加しましたが、ポータブルゲーム機向け、カーナビゲーション向けは減少いたしました。

この結果、売上高は63億93百万円(前期比23.1%減)となりました。

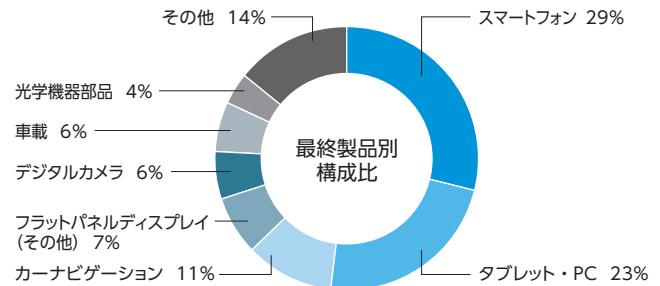
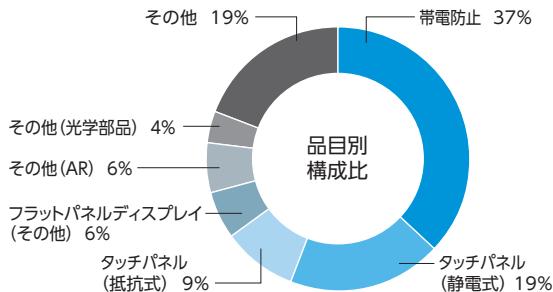
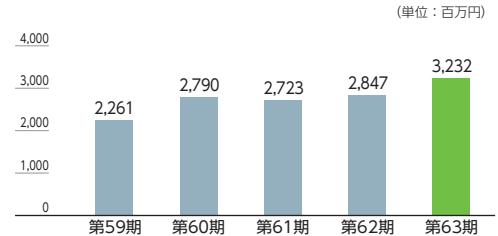
その他

その他につきましては、デジタルカメラ向けや車載向けに反射防止・防汚膜の受注が増加した結果、売上高は32億32百万円(前期比13.5%増)となりました。

■フラットパネルディスプレイの売上高推移



■その他の売上高推移

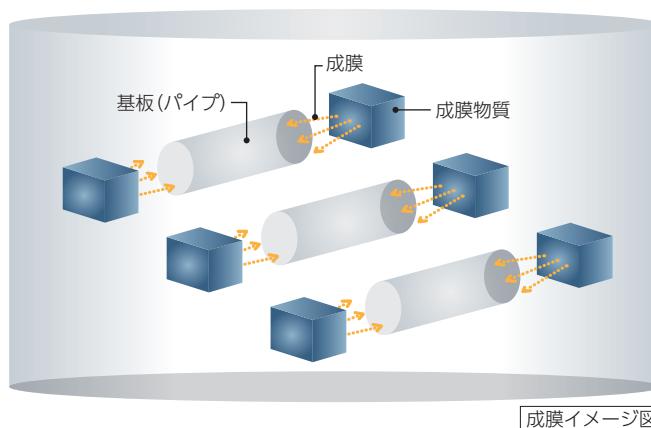


円筒内部成膜(コーティング)のご紹介

1 概要

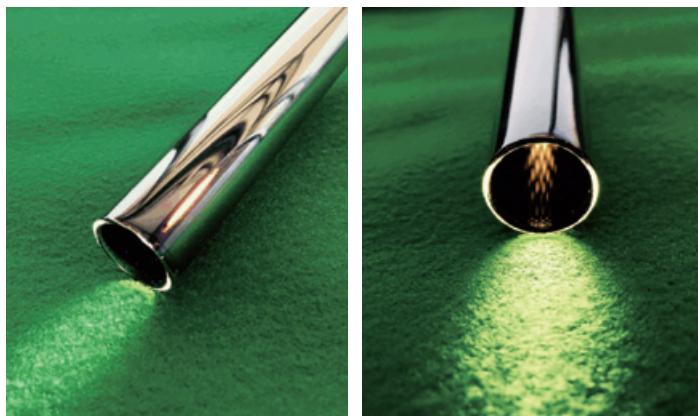
当社はこれまで、スマートフォンやタブレット端末向けなど、フラットパネルディスプレイ用基板への成膜を中心に事業をおこなってまいりましたが、このたび新たな分野に展開・対応することができる「円筒内部成膜技術」を確立いたしましたのでご案内いたします。

これまで配管やパイプなどの内面(円筒内部)への成膜は、塗布やメッキ、CVD(科学的気相成長)などでおこなわれていましたが、コーティングの厚さや均質性に問題があり、加えてコーティングする素材に限られてしまうなどの課題もあり、技術革新が急務となっております。



成膜イメージ図

2 新技術の詳細



●円筒内部成膜の特徴

サイズ	Φ4mm(内径)~Φ180mm(外径)	成膜可能
長さ	~1,500mmまで	
膜種	金属膜(Au、Pt、Ni、Tiなど)	
基板素材	ガラス、金属、セラミックス など	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ナノオーダーで均一な膜厚と膜質を実現 ・高融点金属も加工が可能 	

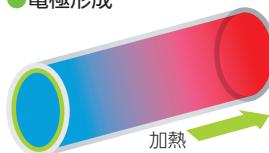
●円筒断面図



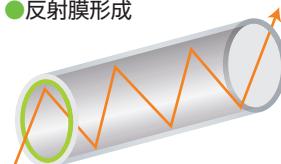
3 技術展開

腐食防止	薬品や薬剤などから基材を保護することが可能
電極形成	液体の加熱や電気導線の形成が可能
反射膜形成	特定波長を反射させることで、光路として活用が可能
フィルター	特定物質を通すフィルター膜の形成が可能
反応膜形成	触媒などの機能を付加することが可能
摩擦・抵抗低減	流体抵抗の低減や固体の滑り性(潤滑性)が向上
その他	コーティング材料により、さまざまな機能性の付加が期待できます

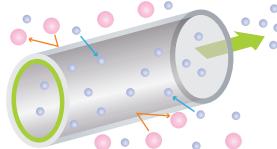
●電極形成



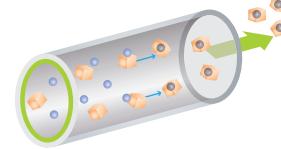
●反射膜形成



●フィルター



●反応膜形成



4 今後の展望

円筒内部成膜技術は、コーティング物質の特徴を活かすことによって、固体・液体・気体それぞれに対して効果がでるものであり、水やエネルギーを代表とする生活インフラ関連の機能配管として今後の展開が期待できます。



配管に成膜加工をすることにより、「配管の水が流れやすくなる」、「保護膜により配管の腐食を防止する」などの機能向上が期待できます。また、流体抵抗の低減によってポンプの小型化(省電力化)や水道管の小径化により生活インフラに大きな影響を与えられる技術だと期待しております。



細管やチューブなどにコーティングを施すことにより、カテーテルなど高機能医療機器に応用することや、摺動性の向上によって、車両や産業機械向けの配管やシリンダーパイプの高機能化・小型化に応用することが可能となります。

GEOMATEC製品の歩み

当社は、1953年の設立以来、一貫して「社会への光の応用」をテーマに、フラットパネルディスプレイ用基板、光学機器用部品などの中核要素を担う真空成膜技術に特化した受託加工メーカーとして企業活動に努めてまいりました。

- カメラ：アルミ表面鏡
- 玩具：アルミ表面鏡



- カメラ：ARコート・光学多層膜
- ルーペ：ARコート

- 二眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- 一眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- ラジオ：セラミックバリコン用銀電極膜
- マジックミラー：Tiハーフミラー
- 航空機：計器類カバーガラス用SnO₂電極膜
- 電子顕微鏡：内窓ガラス用SnO₂電極膜
- 信号機：カバーガラス用SnO₂電極膜（曇り止め用）
- 天体望遠鏡：アルミ表面鏡
- 潜水艦：潜望鏡カバーガラス用SnO₂電極膜

- 液晶腕時計：In₂O₃→ITO膜
- 複写機：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡



- 簡易印刷機：その他金属膜
- 装飾用照明：グラリエントフィルター
- 液晶電卓：In₂O₃→ITO膜
- 船舶：レーダー用ダイクロイックフィルター
- 時計用着色カバーガラス：TiO₂、Cr₂O₃等使用
- テレビ：コントラスト調整用ウェッジフィルター
- 液晶置時計：ITO膜

- リアプロジェクションTV：アルミ表面鏡
- 交換レンズ：銀表面鏡・アルミ高反射鏡
- ステッパー：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡
- オートレフ：コールドミラー
- ラップトップ型ワープロ：ITO膜



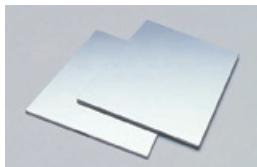
- ビデオカメラ：IRカットフィルター
- 複写機：原稿台カバーガラス用ITO膜
- 光パワーメーター：ステップフィルター
- 扁平ブラウン管TV：蛍光体へのSiO₂コート

1950年代

- サングラス：Crハーフミラー
- 自動車：バックミラー用Cr反射鏡
- 航空機：翼端灯用銀反射鏡
- OHP：アルミ表面鏡
- 双眼鏡：ARコート
- 自動車：ルームミラー用Cr反射鏡

1960年代

- 投影机：アルミ表面鏡
- レントゲン装置：アルミ表面鏡
- ジヤソ式複写機：アルミ表面鏡



- 一眼レフカメラ：銀表面鏡

1970年代

- 家電製品：ITO膜
- 事務機器：ITO膜
- 太陽電池：ITO膜
- リアプロジェクションTV：青ダイクロイックミラー
- 歯科医用照明：コールドミラー・フィルター
- ビデオカメラ：ローパスフィルター
- LDプレーヤー：ARコートレーザーミラー



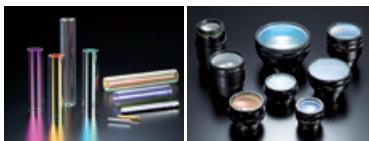
1980年代

- CDプレーヤー：ARコート・レーザーミラー
- 液晶プロジェクター：ダイクロイックミラー・フィルターARコート



- ラップトップ型パソコン：ITO膜
- レーザープリンター：アルミ高反射鏡
- 複写機：IRカットフィルター
- 液晶テレビ：ITO膜

- ラボ用プリンター：ダイクロイックミラー・フィルター・ARコート
- PDA：ITO膜
- 液晶モニター付きビデオカメラ：ITO膜
- レーザーマーカ―：ARコート

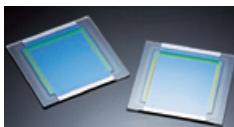


- ATM/CD：タッチパネル用ITO膜

- 液晶テレビ・パソコン：ITO膜
- カラー携帯電話：ITO膜・金属膜



- 全固体型薄膜リチウムイオン二次電池



- 光通信：ARコート・フィルター
- DMDプロジェクター：ダイクロイックミラー・ARコート・セラミックコート



- 液晶リアプロジェクションTV：ダイクロイックミラー・フィルター・ARコート

- モバイル機器：有機EL用ITO膜
- ポータブルオーディオ：有機EL用ITO膜
- 静電容量方式タッチパネル用ITO膜・金属膜
- LCD用帯電防止膜
- 有機太陽電池用TCO膜
- クリアヒート®：ITO膜(東邦シートフレーム株式会社共同開発品)

- 静電容量方式タッチパネル：フィルム用ITO膜・金属膜
- ロール to ロール成膜
- 照明：有機EL用ITO膜・金属膜
- マスクブランクス用遮光膜
- 薄膜熱電対
- 円筒内部成膜



1990年代

2000年代

2010年～

GEOMATECの技術はさまざまな分野で活躍しております

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話、デジタルカメラを代表に、毎日の暮らしのごく身近なところで当社の成膜技術が活かされています。それは、真空成膜技術に特化した受託加工メーカーならではのものです。

- 携帯電話
- スマートフォン
- タブレット端末



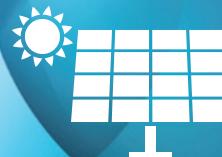
- 一眼レフカメラ
- プロジェクター
- デジタルカメラ



- カーナビ
- 信号機
- ETC
- 電車(窓)
- 魚群探知機



- 建材用途
- 太陽電池



株式の状況 (H28.3.31現在)

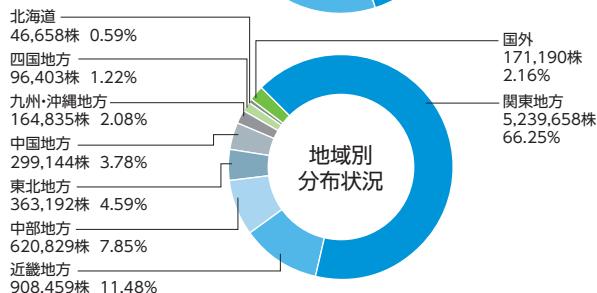
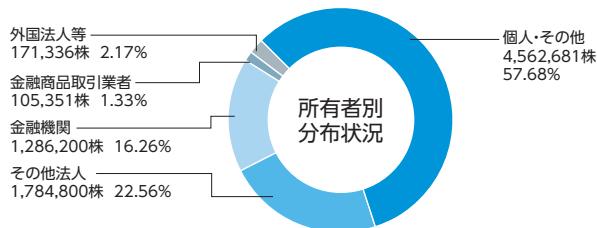
発行可能株式総数	21,600,000 株
発行済株式総数	9,152,400 株
株主総数	4,807 名

(前期末比505名減)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社松崎興産	1,389,800	17.50
松崎建太郎	425,800	5.30
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	394,800	4.90
株式会社三菱東京UFJ銀行	303,800	3.80
ジオマテック従業員持株会	188,280	2.30
明治安田生命保険相互会社	154,000	1.90
バンク オブ ニューヨーク ジャーシーエム クライアント アカウント ジェイピーアールディ アイエスジー (エフイーエイシー)	129,900	1.60
個人株主	107,100	1.30
第一生命保険株式会社	105,000	1.30
株式会社アイ・アンド・イー	80,400	1.00

※自己名義株式は除いております。



※自己名義株式は除いております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(http://www.geomatec.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行*及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

会社概要

(H28.3.31現在)

商号	ジオマテック株式会社 GEOMATEC CO., LTD.
設立	昭和28年9月
資本金	40億4,385万円
従業員数	636名(連結) 458名(単体)
本社所在地	〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735 E-mail:geomatec@geomatec.co.jp
事業内容	フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製造及び販売他
主な販売先	旭硝子(株)、カシオ計算機(株)、シチズン電子(株)、シャープ(株)、(株)ジャパンディスプレイ、日東電工(株)、パナソニック液晶ディスプレイ(株)、HOYA(株) など (五十音順)

役員

(H28.6.29現在)

代表取締役社長	松崎建太郎
取締役常務執行役員	鈴木忠春
取締役執行役員	菅原浩幸
取締役執行役員	河野淳
監査等委員である取締役	高橋幸吉
監査等委員である取締役	澤口学※
監査等委員である取締役	寺西尚人※
執行役員	松本作太
執行役員	武田明
執行役員	菅原英喜
執行役員	千葉浩之
執行役員	氏家光宏
執行役員	佐々木康行

※ 澤口学及び寺西尚人の2名は社外取締役であります。

ネットワーク

R&Dセンター

〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目13番7号

金成テクノセンター

〒989-5184 宮城県栗原市金成小迫金沼9番地

金成工場

〒989-5164 宮城県栗原市金成金生51番地

赤穂工場

〒678-0165 兵庫県赤穂市木津稻荷山1325番80

吉奥馬科技(無錫)有限公司

中華人民共和国江蘇省無錫市無錫国家高新技术産業開発区B18-C地塊



当社ホームページでは、成膜技術に関する情報や加工製品、IR情報などがご覧いただけます。



<http://www.geomatec.co.jp/>

ジオマテック株式会社

GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCOは
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相談)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。